

# 取扱説明書

- ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解ください。
- その後もお手元に置き、ご使用中に不明な点がございましたら、その都度内容をご確認ください。

## 業務用

本製品は業務用ですので、労働安全衛生及び呼吸用保護具の十分な知識を有する方が使用するか、または十分な知識を有する方の指導の下で使用してください。

取替え式防じんマスク (種類:直結式・半面形 区分:RL2) シリコーン面体

## サカサ式 1180MD 型

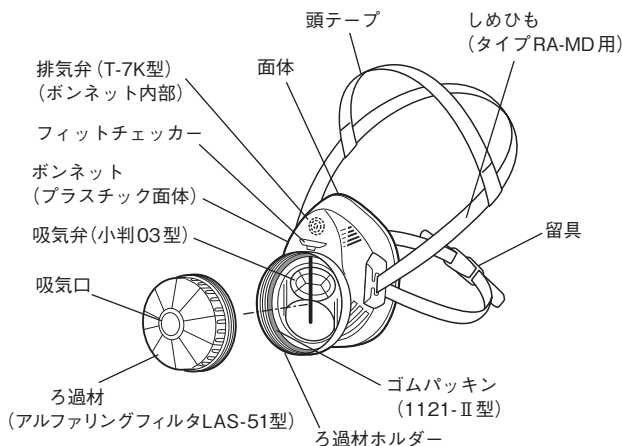
### 使用の範囲

本品は、粉じん等の吸入を防ぐために使用する防じんマスクです。オイルミスト等の有無にかかわらず、次の作業及び用途で使用できます。

- 管理濃度が0.1mg/m<sup>3</sup>以下の物質の粉じん等を発散する場所における作業
- 医療施設等における呼吸器感染対策の用途

ただし、使用上の注意事項の「△ 危険」の環境では絶対に使用しないでください。

### 構造及び各部の名称



型式名称

サカサ式 1180-05 型

国家検定合格第 TM538 号

※ご使用の際には国家検定合格標章が付いているか必ず確認してください。

### 安全に正しくご使用いただくために

- 防じんマスクはご使用にあたっていくつかの制限的条件があり、これをお守りいただかないと生命、身体に重大な危険を及ぼすおそれがあります。
- この説明書は、安全上重要な内容に△ 危険、△ 警告、△ 注意を記載しています。以下が定義ですので、内容をよく理解したうえ、本文をお読みください。

#### △ 危険

…記述内容に従った操作や処理を守らないと 生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性が高いことを意味します。

#### △ 警告

…記述内容に従った操作や処理を守らないと 生命、身体に重大な被害を及ぼす可能性 あることを意味します。

#### △ 注意

…記述内容に従った操作や処理を守らないと 生命、身体に軽微な被害または物損事故を起こすおそれがあることを意味します。

### 使用上の注意事項

#### △ 危険

- 酸素欠乏環境(酸素濃度が18%未満)、酸素濃度が不明、または有毒ガス環境では、絶対に使用しないでください。酸素欠乏、ガス中毒のため、死亡もしくは急性障害などになります。このような環境では送気マスク等をご使用ください。
- 「放射性物質がこぼれたとき等による汚染のおそれがある区域内の作業または緊急作業」、「アスベスト除去作業マスク区分4以外のマスクが必要な作業」、「ダイオキシン類のばく露のおそれがある作業」、「これらに準ずる作業」では使用できません。このような環境では、区分RS3、RL3の防じんマスクなど環境に適した保護具をご使用ください。

#### △ 警告

- 本品は疾患または感染リスクを皆無にするものではありません。
- 医療施設等においては、施設の感染対策マニュアル等に従って、適切な個人用防護具を併用してください。
- 感染者の方は絶対に使用しないでください。排気弁を通じて菌やウイルス等を飛散させてしまう可能性があります。
- マスク自体が著しく高温となる環境、または呼気等に含まれる水分が氷結する低温環境では使用しないでください。部品の変形や氷結の付着により排気弁等の動作不良が生じ、粉じんが漏れ込むおそれがあります。
- 面体が顔によくフィットしていることを確認してください。「シールチェック(フィットチェック)のしかた」(P2)に従って密着性を確認してください。
- 以下の場合、密着が保てず、有害物質が漏れ込むおそれがありますので、改善しない限り使用しないでください。
  - ・接顔部にヒゲ、もみあげ、髪の毛が入り込んだまま使用する。
  - ・排気弁の作動を妨害するような口ひげやあごひげがあるまま使用する。
- 呼吸器系及び循環器系に疾患がある場合、または産業医等が不適当と認めた場合は使用しないでください。
- 狭い場所での作業は、マスクをぶつけないように注意してください。マスクがずれて有害物質が漏れ込むおそれがあります。
- 溶接作業や研磨作業などの際に、スパッタや火花が発生する場合は、吸気口キャップ(別売)をろ過材に取り付けてご使用ください。吸気口からのスパッタや火花の侵入を低減する効果があります。吸気口からスパッタや火花が侵入すると、ろ過材を破損するおそれがあります。
- ガウジング作業などの際に、スパッタや大量の火の粉が発生する場合は、溶接面に頭巾等を併用してください。溶接面とマスクの間にスパッタや大量の火の粉が入り込むおそれがあります。

## 使用方法

- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・ご使用にあたっては、必ず専用の純正部品を使用してください。

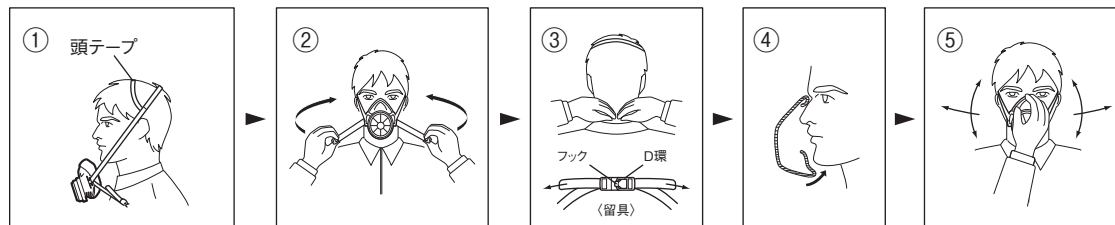
### 1. 使用前点検

ご使用になる前に、必ず4ページの“点検のしかた”に従って、使用前の点検を行ってください。

### 2. 装着のしかた

取り付けや取りはずしは、有害物質などのない安全な場所で行ってください。

- ①頭テープを後頭部に安定するようにかけてください。
- ②しめひもの留具（フック、D環）を持ち、左右均等に引きながらマスクを顔にあててください。
- ③首の後ろで留具を留めてください。
- ④〈しめひもの調節〉に従ってしめひもの長さを調節し、面体を鼻梁部から顔に密着させ、その後にあご部に合わせてください。
- ⑤装着したらマスクを上下左右に動かし、安定する位置にしてください。
- ⑥装着が完了したら、必ず“シールチェック（フィットチェック）”を行ってください。
- ⑦はずす場合は、留具をはずしてください。



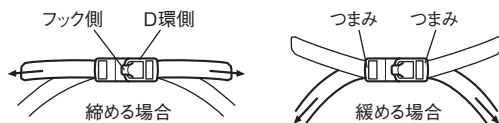
#### 〈しめひもの調節〉

マスクと顔との間にすき間なく装着できるように、また過度に圧迫されないようにしめひもの長さを調節してください。

しめひもの調節は次の手順で行ってください。

しめひもの長さは左右均等になるようにしてください。

- ①締める場合は、フック、D環側両方のしめひもの先端を引いてください。
- ②緩める場合は、つまみを起こしながら面体側のしめひものを引いてください。



#### ⚠ 注意

- しめひものに十分に弾力があり、締め付けに必要な強度があることを確認してください。
- しめひものを強く締めすぎるとフィット感が悪くなったり、長時間の作業では、不快になったりするのでご注意ください。

#### ⚠ 警告

- タオルなどを顔に当てた上から装着しないでください。粉じんが面体内へ漏れ込む原因となります。
- しめひものは左右均等の長さと装着してください。伸びたしめひもや片側によってしまったしめひもが長く余っていると、しめひもが機械等に巻き込まれるおそれがあります。
- アレルギー体質の方や肌の弱い方は、マスクの使用により肌荒れや湿疹などを起こすことがあります。また、汗や粉じん、面体の汚れなどの影響によりそれらの症状が現れることがあります。その場合は使用を中止し、医師にご相談ください。
- 作業中にマスクがずれるなど、正しい装着が得られなくなった場合は、有害物質などのない安全な場所へ移動し、正しい装着状態に戻してください。
- ろ過材に振動や衝撃を与えないでください。機能低下、破損の原因になります。

### シールチェック（フィットチェック）のしかた

有害物質等のない安全な場所で行ってください。



- ①マスクを装着してフィットチェッカーを確実に上まで引き上げて、息を吸い込んでください。面体が顔に吸い付くように感じられれば密着は良好です。
- ②空気の漏れ込みが感じられましたら密着が確認できるまで装着状態や各部取付け状態を再チェックし①を繰り返してください。
- ③密着が良好なことが確認できたら、必ずフィットチェッカーを押し下げてから作業にお入りください。

#### ⚠ 警告

- シールチェック（フィットチェック）は、使用前に必ず行ってください。正しく装着されていないと顔と面体のすき間から面体内へ有害物質が漏れ込み、吸入してしまいます。
- シールチェック（フィットチェック）時に面体内への空気の流入が感じられた場合は、マスクを使用しないでください。有害物質が漏れ込み吸入してしまいます。

#### ⚠ 注意

- フィットチェッカーを乱暴に扱わないでください。破損により正しくシールチェック（フィットチェック）ができなくなる場合があります。

## ろ過材（フィルタ）の交換

- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用のろ過材を使用してください。
- ・感染対策で使用の場合、手袋を着用してろ過材を交換してください。手袋をはずした後は、手指衛生を行ってください。

### 1. 交換の時期

以下のいずれかの状態になった時は、ろ過材を新しいものと交換してください。

- ◎息苦しくなった場合
- ◎ろ過材が破損、変形した場合、穴があいた場合
- ◎ろ過材が血液、体液、菌やウイルス等で汚染された場合、または汚染の可能性が考えられる場合

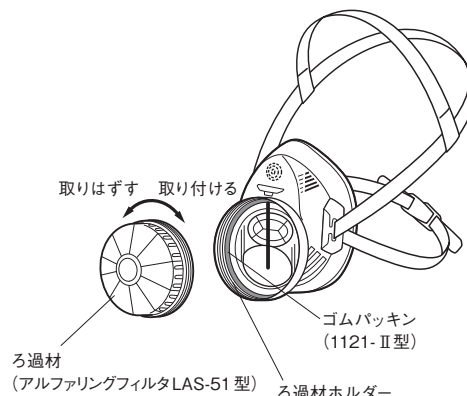
### 2. 交換の手順

交換用ろ過材アルファリングフィルタ LAS-51 型は、1 個ずつ包装されています。次の手順に従い、交換してください。

- ①ろ過材を左に回してはずしてください。
- ②ゴムパッキンにずれや歪みなどがなく、ろ過材ホルダーの奥まではめ込まれていることを確認してください。
- ③新しいろ過材をマスクのろ過材ホルダーの溝に合わせしっかり締め込み、取り付けてください。
- ④ろ過材ホルダーの溝にネジがかんでいる場合やろ過材がグラついている場合は、再度ろ過材を取りはずして付け直してください。

#### 警告

- アスベスト（石綿）、ヒ素、クロム等の有害性が高い粉じん等に使用したろ過材は再使用しないでください。（1 回ごとに廃棄してください。）



### 3. 廃棄のしかた

廃棄するろ過材は分解せず、有害物質が飛散しないよう袋などで密封し、「廃プラスチック類」、「ガラス・コンクリート・陶磁器くず」を含むこと、有害物質の付着があることを産業廃棄物処理業者に伝えて適切な処理を依頼してください。なお、感染対策で使用したろ過材は、施設の廃棄のルールに従って、感染性医療廃棄物として廃棄してください。

## しめひもの交換

- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用のしめひもを使用してください。
- ・感染対策で使用の場合、手袋を着用してしめひもを交換してください。手袋をはずした後は、手指衛生を行ってください。

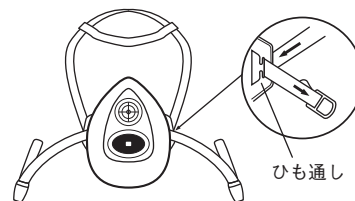
### 1. 交換の時期

以下のいずれかの状態になった時は、しめひもを新品と交換してください。

- ◎しめひもに著しい汚れがある場合
- ◎しめひもに十分な弾力、締付けに必要な強度がない場合
- ◎留具に、亀裂・変形・破損や欠損などが生じた場合
- ◎留具がしっかりと留まらない、または容易にとりはずせない場合

### 2. 交換の手順

- ①しめひもをひも通しの左右それぞれからはずしてください。
- ②新しいしめひもを取り付ける際は、しめひもを外側から通し、ひも通しに確実にかけてください。



注意：しめひもの向き、ねじれにご注意ください。

## 吸気弁・排気弁の交換

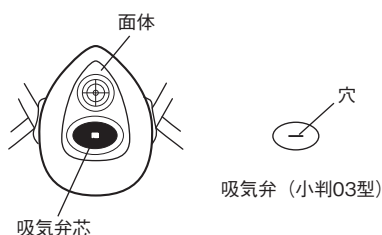
- ・有害物質などのない安全な場所で行ってください。
- ・必ず専用の純正部品を使用してください。
- ・感染対策で使用の場合、手袋を着用して吸気弁・排気弁を交換してください。手袋をはずした後は、手指衛生を行ってください。

### 1. 交換の時期

亀裂・変形・キズ・穴などの破損、汚れ、ゴムの劣化によるべとつきなどが認められた場合

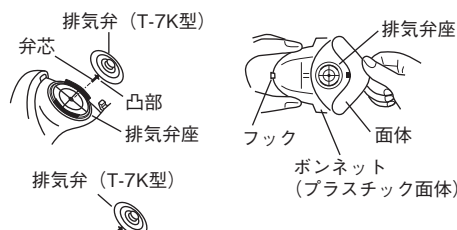
### 2. 吸気弁の交換手順

- ①面体の内側に付いている吸気弁を吸気弁芯より取りはずしてください。
- ②新しい吸気弁を取り付ける際は、吸気弁の穴を少し広げながら、吸気弁芯に確実に取り付けてください。



### 3. 排気弁の交換手順

- ①ボンネット（プラスチック面体）上部のフックを面体よりはずし、ボンネット（プラスチック面体）を持ち、面体を外側に折り曲げてください。
- ②排気弁を排気弁座から指でつまんで引き抜いてください。
- ③新しい排気弁を取り付ける際は、まず、弁芯を排気弁座の中央の穴に通してください。面体の内側に弁芯が突き出しますので、指でつまんで凸部が内側に出るまで引っ張ってください。
- ④排気弁のまくれなどがなく、正しく取り付けられていることを確認してください。
- ⑤面体を元に戻し、面体上部の穴にボンネット（プラスチック面体）上部のフックを差し込んでください。



#### 警告

- 排気弁座にキズを付けないようにしてください。有害物質が面体内に漏れ込み吸入してしまいます。

## 点検のしかた

有害物質などのない安全な場所で行ってください。

| 点検箇所                |      | 判定基準                                                         | 不具合時の処置                                                                   |
|---------------------|------|--------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| 面体                  |      | 亀裂・変形・穴などの破損、ゴムの劣化によるべとつき、または著しい汚れなどがないこと。                   | マスクを新品と交換してください。<br>また、著しい汚れや異物の付着がある場合は、清掃してください。<br>面体の黄変は、性能に影響はありません。 |
| ボンネット<br>(プラスチック面体) |      | 亀裂・変形・穴などの破損、または著しい汚れなどがないこと。ろ過材の取り付けが確実にできること。              |                                                                           |
| 排気弁座                |      | 亀裂・変形・キズなどの破損、または著しい汚れや異物の付着などがないこと。                         |                                                                           |
| フィットチェッカー           |      | 容易に動かせ、シールチェック（フィットチェック）ができること。亀裂・変形・キズなどの破損または著しい汚れなどがないこと。 |                                                                           |
| 排気弁                 |      | 亀裂・変形・キズ・穴などの破損、ゴムの劣化によるべとつきがないこと。著しい汚れや異物の付着がなく、正常に動作すること。  | 排気弁を新品と交換してください。また、汚れや異物の付着は清掃し、正常に動作することを確認してください。                       |
| 吸気弁<br>ゴムパッキン       |      | 亀裂・変形などの破損、ゴムの劣化によるべとつきがないこと。著しい汚れや異物の付着がないこと。               | 吸気弁又はゴムパッキンを新品と交換してください。また、汚れや異物の付着がある場合は、清掃してください。                       |
| しめひも                | ひも部  | 十分に弾力があり、締め付けに必要な強度があること。                                    | しめひもを新品と交換してください。                                                         |
|                     | 留具   | 亀裂・変形・欠損などがないこと。留具は容易に取りはずしができ、しっかりと留まること。                   |                                                                           |
| ろ過材                 | 外観   | 変形・穴などの破損、著しい汚れや湿りなどがないこと。                                   | ろ過材を新品と交換してください。                                                          |
|                     | 吸気抵抗 | 装着時に息苦しくないこと。                                                |                                                                           |
| 各部を接合した状態           |      | すべての構成部品が正しく取り付けられていて欠損部品がないこと。                              | 欠損している部品を取付けてください。                                                        |

◎清掃のしかたについては“お手入れのしかた”をご参照ください。

### ●性能

|                | 社内基準値                        | 平均値                      |
|----------------|------------------------------|--------------------------|
| 粒子捕集効率（DOP 粒子） | 95.0%以上                      | 98.0%                    |
| 吸気抵抗           | 80Pa以下                       | 72Pa                     |
| 排気抵抗           | 45Pa以下                       | 25Pa                     |
| 吸気抵抗上昇値        | —                            | 123Pa                    |
| 二酸化炭素濃度上昇値／死積  | 0.5%以下／200cm <sup>3</sup> 以下 | 0.36%／144cm <sup>3</sup> |
| 質 量            | 112g以下                       | 97g                      |

#### 交換用部品について

以下の交換用部品を販売しております。  
お買い上げの販売店でお求めください。  
●ろ過材・・・アルファリングフィルタ LAS-51 型（1 個入）  
●吸気弁・・・吸気ゴム弁 小判 03 型（5 個入）  
●排気弁・・・排気ゴム弁 T-7K 型（5 個入）  
●しめひも・・・頭紐タイプ RA-MD 用（5 本入）  
●ゴムパッキン・・・ゴムパッキン 1121-II 型（10 個入）

## お手入れのしかた

有害物質などのない安全な場所で行ってください。

使用後はお手入れをし、清潔に保ってください。



### 警告

- 改造や交換可能箇所以外を分解しないでください。
- 部品交換する際は、純正部品以外は使用しないでください。

### ●マスク本体



### 注意

- 必ず、ろ過材をはずしてからお手入れを行ってください。

- ◎付着した粉じんや汗などの汚れは、乾いた布、または軽く水で湿らせた布などで、キズを付けないように拭き取ってください。
- ◎著しい汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤でキズが付かないように洗浄してください。特に排気弁座、排気弁には注意してください。なお、中性洗剤は完全にすすぎ落としてください。
- ◎洗浄後は水分をよく拭き取り、十分に陰干ししてからご使用ください。
- ◎顔に触れる部分、マスクの内側などは、消毒用アルコールを布などにふくませ、消毒してください。その後、アルコールを完全に拭き取ってください。
- ◎オートクレーブによる滅菌が可能です（条件 121℃、20 分）。なお、繰り返し滅菌することにより、面体が黄変することがありますが、性能に影響はありません。



### 注意

- 接顔部は常に清潔にしてください。  
接顔部の汚れは、肌荒れ、かぶれの原因になります。
- 消毒用アルコールを使用した場合は、十分に乾燥させる、または、水で洗い流して水分をよく拭き取ってください。
- シンナーなどの有機溶剤をお手入れに使用しないでください。

### ●ろ過材

ろ過材は分解せず、表面を乾いた布などで拭いてください。  
交換時期になったろ過材は、廃棄のしかた（3 ページ）に従って廃棄してください。



### 警告

- 下記の行為はろ過材の変形、破損及び性能劣化などの原因になりますので絶対にしないでください。
  - ・ろ過材に付着した粉じんを除去するために強くたたくなど、必要以上の力を加える。
  - ・ろ過材に付着した粉じんをコンプレッサなどの圧縮空気で吹き飛ばす、または掃除機などで吸引する。
  - ・ろ過材を水洗いする。

## 保管のしかた

- ◎付属の巾着袋は保管用としてご使用いただけます。
- ◎お手入れ後は、粉じん環境下や温度差の激しい場所、湿度の高い場所は避け、積み重ねなどにより、面体、しめひも等について亀裂、変形などの異常を生じないように乾燥した状態で保管してください。  
また、保管時は直射日光の当たらない場所に専用の保管場所を設け、保管状況が容易に確認できるようにしてください。

## 興研株式会社

本 社 ☎102-8459 東京都千代田区四番町 7 番地  
☎03(5276)1911(大代表) FAX03(3261)0589  
商品に関するお問い合わせは、本社もしくは最寄りの営業所までお願いいたします。

| 営 業 所 |                  |
|-------|------------------|
| 北海道   | ☎ 011 (832) 3911 |
| 仙台    | ☎ 022 (374) 0420 |
| 新潟    | ☎ 025 (255) 0121 |
| 千葉    | ☎ 043 (293) 0411 |
| 熊谷    | ☎ 048 (524) 2928 |
| 東京    | ☎ 03 (5276) 8063 |
| 横浜    | ☎ 045 (242) 6566 |
| 名古屋   | ☎ 052 (753) 7872 |
| 北陸    | ☎ 076 (298) 1010 |
| 大阪    | ☎ 06 (6326) 9223 |
| 神戸    | ☎ 078 (511) 0414 |
| 倉敷    | ☎ 086 (423) 2321 |
| 広島    | ☎ 082 (511) 1281 |
| 四国    | ☎ 0897 (34) 8927 |
| 九州    | ☎ 0942 (38) 1651 |
| 長崎    | ☎ 095 (844) 8406 |